



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

令和2年(2020年)
5月11日
月曜日
第223号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

● スクール・サポート・スタッフの取り組みを紹介します ●



本県では静岡式35人学級の充実などにより、きめ細かな指導体制の構築を進めていますが、一方で教職員の長時間勤務は看過できない状況にあります。授業改善や、自己研鑽の充実など、学校教育の質の向上につながる教職員の時間を確保するためにも、「学校における働き方改革」の推進は急務と言えます。

小中学校ではスクール・サポート・スタッフを全校へ配置し、教員でなくてもできる業務を任せることで、教員が児童・生徒と向き合う時間を確保し、授業改善をはじめとする教育の質の向上を図っています。

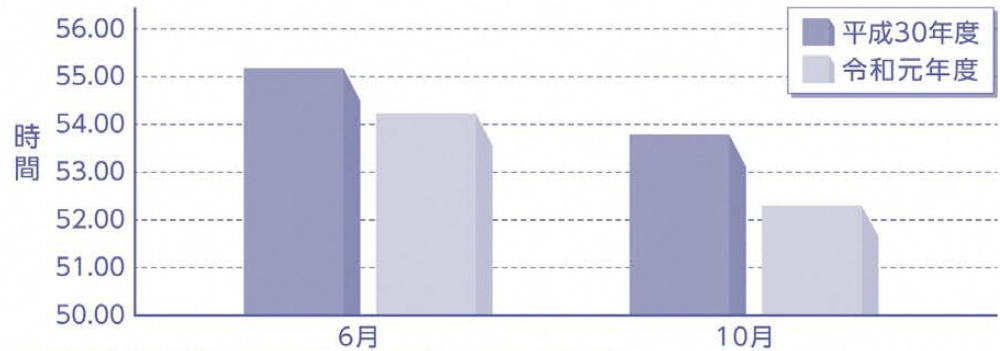
スクール・サポート・スタッフは、文書の印刷やプリントの仕分け、宿題の点検等を主な業務として行いますが、その他にも以下のような取り組みも行っています。



内容	指示者	スクール・サポート・スタッフへの指示方法	スクール・サポート・スタッフの具体的な取組
PTA事務サポート	教 頭	PTAに関わるサポート希望の業務内容を、教頭が伝える。	PTAに関わる事務業務を担う。
月別行事予定作成	主幹教諭	月別行事予定に入力する文書(行事名や出張予定等)を提示して、その内容を入力する。作業の仕方については、はじめの数回、主幹教諭が入力の決まりを一緒に作業して教える。	文書処理を行いながら、月別行事予定表へ入力していく。(パソコンのエクセル表へ入力)
週報作成	主幹教諭	週報に入力する文書(行事名や出張予定、提出物の報告期限等)を入力する。作業の仕方については、はじめの数回、主幹教諭が入力の決まりを一緒に作業して教える。	最新の情報を反映させ、週報を作成し、配付する。(入力表は今まで使用していたものを活用)このデータを活用して、パソコンからモニター表示に「本日の予定」を表示している。
備品・施設の点検・整備・修繕	学級担任	発育測定後に児童の机の高さ調節を依頼する。調節方法は、1回目に行う教室の担任が指導をする。	休み時間を使って、机のサイズが合わない児童の高さ調節を行う。
安全点検簿集計	教 頭	毎月行う安全点検簿(手書き表)の集計(データでまとめる)を依頼する。(手書きをデータにするように、1回目の作業前にデータを渡し、作業内容を確認する。)	毎月行う安全点検簿(手書き入力)を表(エクセル表)にまとめたデータを教頭へ提出する。(教頭はそのデータを確認し、修繕等に対応する。)
教材室整理整頓	教科主任	各教科の教材室の整理整頓について、具体的な指示を伝える。	各教科の教材室の整理整頓や、教材教具のリスト作成を行い、担任が教材教具を使いたいときに探すことなく使用できるようにする。
教室等掲示物の掲示、教室環境整備	学級担任	年度当初に各学級の掲示場所等を確認し、書写の作品を中心に、単元終了後に掲示の貼り替えをしよう願います。	児童が特別教室等で教室を離れている間に、教室の習字作品等を貼り替える。単元終了後、すぐに作品を貼り替える。季節に合わせた飾りを作成して、子どもたちの作品に季節感を添える。



教諭等の1週間当たりの総勤務時間(1人当たり)※



※県内公立小中学校におけるスクール・サポート・スタッフ配置校
学校職員の勤務時間は休憩時間を除き、4週間を超えない期間につき、1週間当たり週38時間45分と定められています。



スクール・サポート・スタッフを活用した学校の声

- 当初は、教員側が何を依頼してよいか戸惑っていた様子が見られたが、スクール・サポート・スタッフへの信頼が高まると、教員側からさまざまな依頼を行うようになった。その結果、授業準備や児童理解、生徒指導に費やす時間を確保することができた。特に成果指標にある「いじめの解消率」や「授業の内容がよく分かる」の割合について良い結果となって表れた。
- 普段なかなか手の回らないトイレ掃除や特別教室の整理、体育館暗幕の修繕などを行ったことにより、学習環境が整い、子どもたちが一層、健康で安全に過ごせるようになった。
- これまで担当教員が行っていた工房業務支援を行うことにより、休み時間に担任が児童へ個別対応できる時間が増えた。

【義務教育課】

実践NOTE 443

はつくら寺子屋

島田市立初倉中学校 教諭 高尾 友靖

寺子屋で教える中学生



小学生に教える中学生

小学校3年生を対象に、隔週の水曜日の放課後に、学習会(寺子屋)を開催しています。この取り組みは、初倉公民館が企画しており、一般のボランティアに混ざって、中学生ボランティアが出身小学校に向いて、学習支援を行うことが特徴です。ボランティアの呼び掛けを行う中で、前期に取り組んだ生徒たちを全校集会の中で賞揚して、はつくら寺子屋ボランティアの良さを話してもらいました。すると、後期にも多くの生徒が参加したいという前向きな姿が見られました。



中学生に教える高校生

「Skypeを利用して外国人の方と会話をしてみよう、授業で学習している英語が通じて嬉しかった」「中学校で学習していることが、高校の学習で役に立つと言われて、もっと頑張らなさい」といけないと感じた」などの感想を持ちました。学習だけでなく、卒業後

寺子屋で学ぶ中学生

学習支援ボランティア活動の逆で、中学生が高校生や大学生、社会人から学習を教わることもあります。夏休みや冬休みを活用した取り組みでは、どちらも30人から60人

の進路や、高校での生活、中学校で取り組んでおいた方がよいことなどについても教えてもらい、これからの生き方を考える良い機会になりました。

寺子屋を開催するにあたって、地域のコーディネーターと、学校のコーディネーターが配置されていることが重要です。さらに、両者がしっかりと仕事を分担し、調整していくことが求められます。そして何より、この取り組みを継続させるためには、担当者間での意思疎通が欠かせません。

実践NOTE 444

外国語を「つなぐ」ツールに「心よ育て」

長泉町立南小学校 教諭 萩原 圭代

授業で「つなぐ」

外国語は、コミュニケーションの技(表情・しぐさ・言葉の使い方、受け取り方等)を体験しながら学ぶことのできる教科です。私は4学年508人の子どもと授業で関わっているのですが、個に応じた支援・対応を、担任や特別支援担当と相談・情報共有をしながら考え、積極的に取り組んできました。

授業では、日本と海外の文化理解だけでなく、言語活動の中で他己理解・自己理解が深まるよう実践しています。相手を尊重する気持ちが、相手の思いを受け入れることにつながり、より深いコミュニケーションを生むよう努めています。



一年生の学級で朝の読み聞かせをする筆者

校内で「つなぐ」校内の教員や子どもたち、「授業外でも英語に



子どもとつながる掲示版

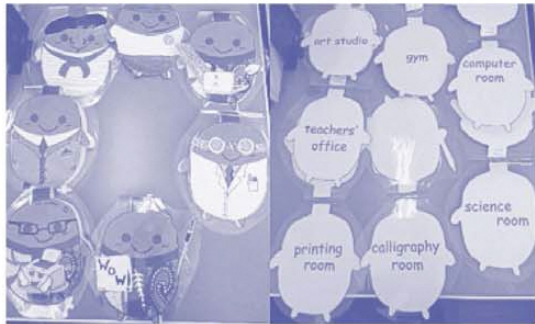
多かったです。逆に、がっかりした様子で自分の英語力や課題について気が付いた子もいました。この経験が学ぶ意欲を高めることにもつながりました。どの実践も、担当教員の提案や協力があったからこそ、実現した実践です。



特別活動・子どもと担任の先生の実践

研修で「つなぐ」

北小学校では、週の打ち合わせ前5分間に自主研修会を設けました。また、年に二単元、教員の考えた方法で参加型研修を行いました。南小学校では、職員会議や研修で情報を伝えたり、活動を体験したりしました。単元計画表と振り返り表は、町内3小学校の連携を意識し、長泉小学校作成の形式を共通で使うようにしました。また、他校種や他地区の実践から学んだことを、目の前の子どもに合わせ実践しています。



校内掲示・特活部とALTとの協働で

南小学校では、既にあったALTの掲示板上に、子どもが作った英文クイズを載せました。英語に興味がある子だけでなく、さまざまな理由から教室に居場所が見つけられずにいる子たちも、話をしたり人間関係を作ったりするきっかけとなりました。中には、ALTと英語でやりとりするのが楽しくて、ほぼ毎日話しかける子たちもいます。また、特別活動では、児童会と一緒に国際交流キヤラクターを作ったり、音楽集会の全校合唱で「Let's Try」の歌を歌ったりしました。歌うきっかけは、子どもが音楽の何らか見ているうちに字や単語に慣れていくことを期待しています。

南小学校では、既にあったALTの掲示板上に、子どもが作った英文クイズを載せました。英語に興味がある子だけでなく、さまざまな理由から教室に居場所が見つけられずにいる子たちも、話をしたり人間関係を作ったりするきっかけとなりました。中には、ALTと英語でやりとりするのが楽しくて、ほぼ毎日話しかける子たちもいます。また、特別活動では、児童会と一緒に国際交流キヤラクターを作ったり、音楽集会の全校合唱で「Let's Try」の歌を歌ったりしました。歌うきっかけは、子どもが音楽の何らか見ているうちに字や単語に慣れていくことを期待しています。

子どもたちと一緒に「Learn by trying!」

子どもたちが多くの人とつながることができるよう、温かくしなやかな心を育てることができるよう、今後も試行錯誤しながら努力していきます。

未来に向けて、挑戦してみませんか? ~「高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)」~

高卒認定試験は、高等学校を卒業していないなどの理由で、大学等の受験資格がない方に高等学校卒業者と同等以上の学力があるかどうかを文部科学省が認定する試験です。合格者には、日本国内の大学・短大・専門学校の受験資格が付与されます。また、高等学校卒業者と同等の学力がある者として認定され、就職・資格試験等に活用することもできます。高等学校に在学中でも受験可能であり、各校長の判断により、高等学校の単位として認められる場合もあります。多くの方々がチャレンジしやすくなるよう、県では文部科学省と連携して、県内会場を設置します。詳細は、県社会教育課にお問い合わせいただくか、文部科学省のホームページ(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiken/)をご覧ください。 問 社会教育課 TEL 054(221)3163

令和2年度高卒認定試験スケジュール		
	第1回	第2回
受験案内配布	4月6日(月)~	7月20日(月)~
願書受付	4月6日(月)~5月12日(火)	7月20日(月)~9月14日(月)
試験日	8月12日(水)・13日(木)	11月7日(土)・8日(日)
試験会場	静岡県職員会館(静岡市)	

静岡茶でつながる!学校・家庭・地域の食育



「これがお茶の葉なんだね!」「茶一ハンは初めてだけどおいしい!」「お茶を入れるの初めて!」

学校でこんな児童の声が聞こえてきました。

裾野市立東小学校と裾野市立富岡第一小学校で取り組まれた、栄養教諭を中核とした静岡茶をツールに学校・家庭・地域が繋がる研究について紹介します。



● 裾野市立東小学校の取り組み ●

4、5、6年生や家庭教育学級を中心に静岡茶の学習をしました。家庭科や総合的な学習の時間には、栄養教諭、保護者と連携したおいしいお茶の入れ方体験、茶摘み体験、手もみ茶体験、茶道教室など、給食の時間に静岡茶を使った給食を食べて、静岡茶について学びました。PTAの家庭教育学級ではお茶講座を開催し、保護者もお茶の入れ方をはじめ、静岡茶を使った料理作りなどを体験して、静岡茶について学び、家庭科の授業で、保護者がお茶講座で身に付けたスキルを生かしてお茶の入れ方体験、調理実習の支援に入ってくれました。児童から「家でもお茶を入れて家族と飲みたい」、保護者から「お茶ふりかけは子どもの弁当にちょうどよい」「家でも子どもと作ってみたい」などの声が聞かれました。子どもたちだけでなく、保護者も静岡茶を共通に学んだことで、学校と家庭がより強くつながりました。

令和流の「お茶の間タイム」でつながる心

人と人が「食」でつながるとき、たくさんの笑顔が生まれ、人の輪が広がります。時間に追われてしまう毎日ですが、一服の静岡茶から、令和流の「お茶の間タイム」が生まれ、心がつながっていったら素敵です。



お茶の入れ方体験

● 裾野市立富岡第一小学校の取り組み ●

3、4年生の総合的な学習の時間、6年生の学校保健委員会、家庭教育学級を中心に取り組みました。地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の協力による学校近くの茶畑での茶摘み体験の実施、学校給食で静岡茶を使った献立の提供を行いました。こうした取り組みを給食だよりやホームページで紹介したことで、家庭で一緒に調理する児童が増加し、家族や地域とのつながりが増えました。家庭科などの授業では、栄養教諭や日本茶インストラクターから、おいしいお茶の入れ方を学んだり、茶道体験を通して社会科の授業で習った日本の文化に触れたりしたことで、静岡茶を身近に感じられました。学校保健委員会では、ふじのくに茶の都ミュージアム副館長の講話により保護者と共に楽しく学び、学校医からもお茶の効能について説明があり、家庭でもお茶を飲むようにしたいという声が聞かれました。

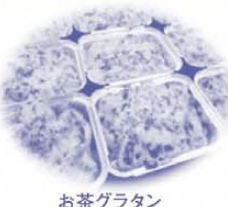
自分たちが住む富岡の恵みを実感

地域のお茶をきっかけに、人と人とのつながりの中で自分たちが生きていること、自分の生まれたところは素晴らしいと感じたこと、関わってくれた地域の人たちも元気になったことを実感する取り組みでした。



地域の茶畑で茶摘み体験

静岡茶がつなぐ栄養教諭間のほっとライン



お茶グラタン

両校の栄養教諭が日本茶アドバイザーの資格を取得し、静岡茶を教材とした食に関する指導内容を研究し、連携を図りました。お茶グラタン、茶一ハン、茶ふぎ芋、お茶ふりかけなど、静岡茶を使った学校給食を提供し、それを児童がおいしく食べて静岡茶を学ぶことができました。家庭科や総合的な学習の時間では、TTによるお茶の入れ方指導を行い、栄養教諭の専門性を生かすことができました。静岡茶を入れた水筒の持参を推奨する期間を設け、事前に栄養教諭や養護教諭が静岡茶の健康効能について講話を行いました。同じテーマで研究することで連携しやすくなり、静岡茶を通じて充実した食育ができました。



栄養教諭による講話

静岡茶で「おもてなし」ができる素敵な人へ

静岡茶をツールに学校の食育を推進することは、静岡県の特産物、歴史、文化を学び、その理解を深めることにつながります。また、お茶の健康効能は健康教育の教材となり、生涯にわたる望ましい食生活を実践する力が身に付きます。静岡茶をきっかけに食卓を囲み、家族がそろって食事を取る共食の機会となることはもちろん、身近な人たちに静岡茶を振る舞うことで人間関係をつくる機会ともなります。静岡茶は静岡県の食育に最適な教材の一つです。(令和元年度つながる食育推進事業報告書は県教委HPに掲載。http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-120/2019tunagaru.html) 【健康体育課】



ふじのくに ジュニア 防災士

地域防災力の向上を図るため、次代を担う若年世代への防災啓発が重要であることから、「ふじのくにジュニア防災士」を養成しています。

児童生徒の防災意識向上のため、「ふじのくにジュニア防災士養成講座」の積極的な実施をお願いします。

(運用マニュアルは県HPに掲載。
http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/e-quakes/center/jinzai/index.html)

意識啓発コース

50分程度

- ▶ 語り部動画 (防災教育の重要性)
元釜石市立釜石中学校 副校長・生徒出演
- ▶ 防災講話 (自助・共助の重要性、若者世代に期待すること)

レポート提出

※下半期以降から運用開始予定

知識行動コース

100~150分程度

- ▶ 防災講話 (地震・津波の基礎知識、家庭内対策等)
- ▶ 防災演習 (HUG・DIG・災害時判断ゲーム等)

訓練参加

レポート提出

※学校の実情に応じた内容に講師が調整

自主講義コース

学校で実施している防災教育の取組や各市町防災部局が実施する防災講座など 意識啓発コース・知識行動コースと同等以上と認められる場合は、「ふじのくにジュニア防災士」に認証することができます。

講座実施日の
1ヶ月前までに
申請してください!

申請・問い合わせは 県危機情報課まで
TEL 054-221-3694

お気軽に
お問い合わせ
ください!

講座依頼連絡先

- ① 賀茂地域局 TEL 0558-24-2004
- ② 東部地域局 TEL 055-920-2180
- ③ 中部地域局 TEL 054-644-9104
- ④ 西部地域局 TEL 0538-37-2204



【危機管理部危機情報課】

学校と地域の連携・協働に係る教育活動 ~裾野市~

子どもをみんなで育てる 小南クラブ

裾野市立南小学校では、地域の方々との交流、異年齢の交流を目的に、放課後の時間を活用したさまざまな活動に取り組んでいます。地域の方々为主体的に運営し、地域の教育力向上・地域の活性化につながる地域学校協働活動を紹介します。

子どもも大人もステップアップ!漢検チャレンジ

月に1~2回、漢字検定受験を目指す希望者が集まり、自分で計画を立てて学習をしています。子どもだけでなく保護者や地域の大人も集まり、教え合ったり一人でじっくりと教材に取り組んだりするなど、それぞれが自分の目標に向け学ぶことを楽しんでいます。

子どもは積極的に学び続ける大人の姿を尊敬し、大人は子どもと同じ場で学ぶ喜びを感じています。



子どもも大人も本気で対戦!オセロクラブ

月に1回、市民サークル「オセロを楽しむ会」の協力を得て、子どもたち、保護者、地域の大人と一緒にオセロゲームを楽しんでいます。初めのうちは大人から教えてもらっていた子どもたちも、今では大人と互角に戦っています。互いが本気で取り組むことにより、オセロを共通項にした対等な人間関係が形成され、同じ目的を持つ者同士のコミュニティは居心地の良い場となっています。

地域は学校の応援団

地域学校協働活動では、地域の方々の参画は、学校や子どもを支援するだけにとどまりません。南小学校では、このほかにも、囲碁クラブ、駅伝チャレンジ、いもクラブ(じゃがいも掘り、さつまいも栽培等)、一日プチクラブ(企画遊び等)など、子どもと大人が共に過ごし共に学ぶ場をつくっています。

これらの活動は、自分から進んで目標を設定し、その達成に向けて取り組む力を付けたい学校の教育ビジョンと、子どもたちと関わりたいという地域の要望とを同時に満たせる活動として具現化されたものです。スクールコーディネーター(地域コーディネーター)や地域住民・外部人材が運営しています。

子どもたちは、家族でも、先生でもない、地域の大人との日常的な関わりの中で、他者と生きるために必要な社会性をごく自然に身に付けています。地域の大人は学ぶ楽しさを再発見するとともに、子どもたちと共に心地良い居場所を見付けることができている。また、地域は子ども・学校・教職員のよき理解者となり、学校の応援団ともなっています。

“地域と学校はパートナー”

幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える「地域学校協働活動」の推進をお願いします。

【社会教育課】

私の学校教育委員会事務局の取り組みを紹介します

教育委員会事務局(庁内)では、各課の若手職員で構成した広報プロジェクトチームによる取り組みの一つとして、「教育委員会事務局クレド」を作成しました。

クレドとは? クレドとは、「信条」や「志」「約束」を意味するラテン語で、一人ひとりが働く上で拠りどころとなる行動指針・行動規範のことで、企業などにおいても注目されています。

教育委員会事務局クレド

しずおかの
人と人を紡ぐ
しあわせ

し しずおかの子どもたちのために
職務の全てにおいて、
子どもたちのために行動します。
お オリジナルの尊重
わ 分かり合い、認め合いながら
職務にあたります。

ず ずっと変わらぬ地域の笑顔
あ 安心して学べる地域を目指し、
現場とともに創意工夫します。
か 掲げよう私の志
せ 成長することを忘れず、職員
それぞれが志をもって働きます。

作成にあたって……とにかく職員がクレドを意識しなければ作成しても価値はありません。そのため、プロジェクトチームで案を出し合うだけでなく、全職員に意見を聴きながら作成しました。肯定的な意見もあれば否定的な意見も出る中で一つのものを作成していくのは、難しい作業でしたが、職員それぞれが「教育」を見つめ直す機会となりました。

ちなみに……
庁内の事務局職員は志を掲げ、その内容をフロアのモニターで公開しています



子どもの資質・能力の育成を目指す研究の推進

新学習指導要領に対応する授業改善とカリキュラム・マネジメントの推進に向けた総合教育センターの希望研修を紹介します。

新学習指導要領が目指すのは?

「主体的・対話的で深い学び」の実現

「カリキュラム・マネジメント」の実現

サポートブックも引き続きご活用ください。

理論に基づいた実践の具体を学びたい!

授業づくりのポイント・コツを知りたい!

カリマになって具体的にどうということなの?

学習科学の考え方を生かした学びの計画・実践

第1回(8月3日) センター会場
学習科学の考え方を学び、知識構成型ジグソー法について理解を深めます。
所属校で授業実践

第2回(11月26日) 学校会場
実際の授業を見て実践感覚を身に付けます。

OPTION(2月) 静岡大会会場
基礎向上・充実発展(授業力)

授業設計診断を活用した「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり

7月1日 特 8月18日 高 11月19日 小中

校種の特性や専門性に即して、
●「解決したい課題や問い」の設定
●「考えるための材料」の選定
●「対話と思考」を深める工夫
●「学習の成果」の見取る方法等を検討する研修を通して、授業設計診断を活用した授業づくりについて理解を深めます。

基礎向上・充実発展(授業力)

「カリキュラム・マネジメント」理解へのファーストステップ

10月9日

研修で次のことを解決するヒントを学びます。
●学校教育目標に基づいた、育成を目指す資質・能力は明確ですか?
●学校にいる皆さんで共有できていますか?
●教科等で具体化されていますか?
先進的な取組事例も紹介します。

基礎向上・充実発展(教育業務遂行力)

総合教育センターwebサイトにアクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントに関連したページがあります。ぜひご覧ください。
https://www.center.shizuoka-c.ed.jp/index.php?page_id-226

【総合教育センター アクティブ・ラーニング プロジェクトチーム】

学び続ける教職員へ

エンジョイ家族～未来に向かってこぎだそう～

～家族でカヌーや海釣りを体験しよう!～

爽やかな海風を感じながら、家族でカヌーや海釣りを体験できるイベントです。スタッフがサポートしますので、カヌーや海釣りが初めての方も安心してご参加ください。自然活動を通して、家族の絆を深めましょう。

- 募集期間 5月1日(金)午前9時から17日(日)午後5時まで(本所HP入力フォームより申込み)
- 実施日 6月13日(土)
- 会場 静岡県立焼津青少年の家
- 定員 全14家族(50人程度)
- 対象 家族
- 費用 1人1,000円程度(※別途活動費)
- 問い合わせ先 静岡県立焼津青少年の家 TEL 054-624-4675



詳細はこちら

「美の競演—静岡県美名品展」を開催します

県立美術館では、東京2020オリンピック・パラリンピック開催を記念し、所蔵品、寄託品から、珠玉の名品を展示します。当館が誇るオールスターが勢ぞろいする、14日間限定の祝典をどうぞ堪能ください。

- 開催期間 6月13日(土)～6月28日(日)
- 会場 静岡県立美術館
- 開館時間 10:00～17:30(展示室への入室は17:00まで)
- 観覧料 一般300円
70歳以上・大学生以下無料
学校団体引率者は無料(要申請書)
- 問い合わせ先 静岡県立美術館総務課
TEL 054-263-5755



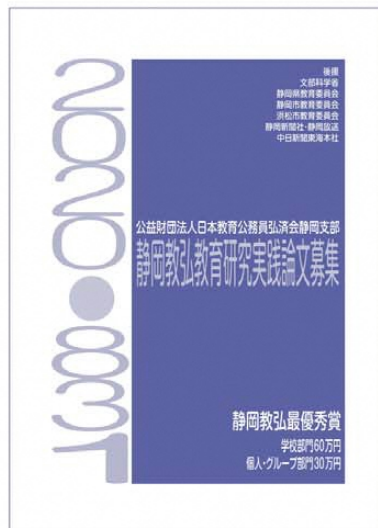
クロード・モネ<ルーアンのセーヌ川> 1872年 キャンヴァス、油彩

静岡県立美術館 検索

広告

静岡教弘 教育研究実践 論文募集

静岡教弘最優秀賞
学校部門 60万円
個人・グループ部門 30万円



2020年8月31日(月) 応募締切

詳しくはこちらのリーフレットをご覧ください!

後援 文部科学省
静岡県教育委員会
静岡市教育委員会
浜松市教育委員会
静岡新聞社・静岡放送
中日新聞東海本社

公益財団法人
日本教育公務員弘済会静岡支部
TEL 054-205-5130